

東京大学Cedep×株式会社ポプラ社共同研究プロジェクトシンポジウム
豊かな絵本・本・メディア環境の実現に向けて
～「子どもと絵本・本に関する研究」のこれまでの成果から～

はじめに

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター
野澤祥子

本日のプログラム

開始15:00 / 終了17:00

1. 開会挨拶・はじめに：野澤 祥子（発達保育実践政策学センター 准教授）

2. 共同研究の成果から 15:15頃～

「子ども・親子・家庭に関する研究から」佐藤 賢輔（発達保育実践政策学センター 特任助教）

「園・図書館・地域社会に関する研究から」高橋 翠（発達保育実践政策学センター 特任助教）

3. 指定討論 15:55頃～

秋田喜代美（学習院大学 教授／東京大学 名誉教授）

遠藤利彦（東京大学大学院 教授／発達保育実践政策学センター センター長）

4. 提言に向けたディスカッション・質疑応答 16:25頃～

上記登壇者 + 千葉 均（株式会社ポプラ社 代表取締役社長）

5. 閉会挨拶：浅井 幸子（東京大学大学院 教授／発達保育実践政策学センター 副センター長）



ポプラ社 ×



参加者の皆様へのご案内

- ・ 質問はチャットにて受け付けます（取り上げる質問の数は限りがございます）。
- ・ 画面のスクリーンショットや動画撮影などのご遠慮ください。
- ・ 音声が届かない場合は、パソコン等の音声出力の設定をご確認ください。
- ・ 音声が届き取りにくい場合は、ヘッドフォンやイヤフォンをお使いいただくことをおすすめします。
- ・ セミナーの様子の一部は後日YouTubeで配信いたします。詳しくはCedepのウェブサイトをご覧ください。
- ・ セミナー資料の一部は後日Cedepウェブサイトで公開いたします。



ポプラ社 ×



ポプラ社×Cedep 子どもと絵本・本に関する研究

2019年度から2021年度の共同研究
＜第1フェーズ＞





デジタル時代における絵本・本の価値を探る

～子どもたちの豊かな読書環境の実現を目指して～

2020年12月4日(金) 14:00～15:30

- 本シンポジウムはオンライン (Zoom) で開催します。
- 参加費は無料です。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着450名です。

企画趣旨

東京大学大学院教育学研究科付属発達実践政策センターと、株式会社ポプラ社の共同研究である、「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトでは、子どもの発達と絵本・本の関係や子どもをとりまく絵本・本環境について、科学的アプローチに基づく多角的な研究を進めています。このシンポジウムでは、デジタル時代における本の価値、パンデミック下における子どもと本のかかわりなどに関する、本プロジェクトの研究内容とこれまでの成果をご紹介します。また、これら研究の知見を手がかりとして、子どもと絵本・本のかかわりを、より豊かなものにする方法について考えていきたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。



プログラム

司会 野澤 祥子 (発達実践政策学センター 准教授)

開会挨拶

千葉 均 (株式会社ポプラ社 代表取締役社長)

プロジェクトの概要

遠藤 利彦 (東京大学大学院教育学研究科 教授 / 発達実践政策学センター センター長)

研究発表 (実験研究)

「絵本およびデジタル絵本共同視聴時における保護者と子どもの相互作用：オンライン実験による検討」
佐藤 賢輔 (発達実践政策学センター 特任助教)



オンライン実験の様子

研究発表 (文献研究)

「保育における子どもの読む権利 (Children's Rights to Read) の展望」
若林 陽子 (東京大学大学院教育学研究科博士課程 / 日本学術振興会)

研究発表 (調査研究)

「子どもの絵本・本環境に関する調査結果報告」
①子どもの絵本・本環境の実態：家庭・園・地域の図書館調査の知見から
②コロナ禍における子どもの絵本・本環境の実態を探る
高橋 翠 (発達実践政策学センター 特任助教)



シンポジウムの詳細・お申し込みはこちら



URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/20109/>

お申し込みはお一人ずつお願いいたします。

お問い合わせについては、お返事までに数日お時間をいただく場合がございます。

*シンポジウムの様子を12月5日(土)、6日(日)の期間限定で録画配信いたします。配信の視聴には申し込みの必要はありません。どなたでもご覧いただけますので、公開期間にCedepサイトにアクセスしてください。
*シンポジウムの発表資料は、当日の午前中までにCedepウェブサイトに掲載します。

指定討論

秋田 喜代美 (東京大学大学院教育学研究科 准教授)

質疑応答

開会挨拶

浅井 幸子 (東京大学大学院教育学研究科 准教授 / 発達実践政策学センター 副センター長)

*研究発表の順序、タイトルは変更となる場合がございます。



豊かな絵本・本・メディア環境の実現に向けて

～「子どもと絵本・本に関する研究」のこれまでの成果から～

2月28日(月) 15:00～17:00 (14:30より入室可)

- 本シンポジウムはオンライン (Zoom) で開催します。
- 参加費は無料です。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着1000名です。

企画趣旨

2019年8月にスタートしたCedepとポプラ社による共同研究プロジェクト「子どもと絵本・本に関する研究」では、子どもと絵本・本の関わりや子どもを取り巻く絵本・本・メディア環境について、調査、実験、事例研究など多様なアプローチに基づき、多層的・多面的な研究を行ってきました。シンポジウムでは、プロジェクトのこれまでの成果をまとめた上で、これから生きる子どもたちにとっての豊かな絵本・本・メディア環境を実現するための提言に繋がります。

プログラム

※プログラムは変更となる場合がございます。

開会の挨拶・はじめに

野澤 祥子 (発達実践政策学センター 准教授)

共同研究の成果から

佐藤 賢輔 (発達実践政策学センター 特任助教)

■「子ども・親子・家庭のレイヤーから」

高橋 翠 (発達実践政策学センター 特任助教)

■「国・図書館・地域社会のレイヤーから」

指定討論

秋田 喜代美 (学習院大学 教授 / 東京大学 名誉教授)

遠藤 利彦 (東京大学大学院 教授 / 発達実践政策学センター センター長)

提言に向けたディスカッション・質疑応答

上野 登壇者 + 千葉 均 (株式会社ポプラ社 代表取締役社長)

閉会挨拶

浅井 幸子 (東京大学大学院 教授 / 発達実践政策学センター 副センター長)



実験研究の様子

*セミナーの様子は録画配信いたします(一部プログラムを除く)。配信のみ視聴する場合は申込みの必要はありません。Cedepのウェブサイトからどなたでもご覧いただけます。
*セミナーの資料は、セミナー終了後にCedepウェブサイトに掲載する予定です(一部資料を除く)。
*録画配信および資料公開の期限は未定です。

シンポジウムの詳細・お申し込みはこちら



URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/39258/>

※お申し込みはお一人ずつお願いいたします。※お問い合わせについては、お返事までに数日お時間をいただく場合がございます。

「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ（全4回）

期間限定 再配信中

本シンポジウム申し込みページ下部より

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/39258/>



東京大学Cedep×株式会社ポプラ社 共同研究プロジェクト
オンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ

第1回 紙とデジタル どうちがう？ ～絵本の役割と子どもの育ち～

登壇：遠藤利彦（東大Cedepセンター長）・柴田愛子（りんごの木 代表）

2021年6月15日(火) 15:00～16:30

- 参加費は無料です。
- 本セミナーはオンライン（Zoom）で開催します。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着500名です。

東京大学Cedep×株式会社ポプラ社 共同研究プロジェクト
オンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ

第2回 乳幼児の絵本体験を問う ～乳幼児はどのように絵本を体験しているか？～

登壇：佐藤 いづみ（NPOブックスタートグローバルネットワーク推進マネージャー）
菅井 洋子（川村学園女子大学 教授）
秋田 喜代美（学習院大学 教授／東京大学 名誉教授）

2021年8月28日(土) 15:00～16:30

- 参加費は無料です。
- 本セミナーはオンライン（Zoom）で開催します。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着500名です。

東京大学Cedep×株式会社ポプラ社 共同研究プロジェクト
オンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ

第3回 脳科学から考える デジタル時代の子どもと読書

登壇：酒井 邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科 教授）
佐藤 賢輔（発達保育実践政策学センター 特任助教）
遠藤 利彦（東京大学大学院教育学研究科 教授）

2021年11月5日(金) 14:00～15:30

- 参加費は無料です。
- 本セミナーはオンライン（Zoom）で開催します。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着1000名です。

東京大学Cedep×株式会社ポプラ社 共同研究プロジェクト
オンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ

第4回 これからを生きる子どもと デジタルメディア

登壇：森口 佑介（京都大学大学院文学研究科 准教授）
佐藤 賢輔（発達保育実践政策学センター 特任助教）
野澤 祥子（発達保育実践政策学センター 准教授）

2022年1月18日(火) 14:00～15:50 (13:30より入室可)

- 参加費は無料です。
- 本セミナーはオンライン（Zoom）で開催します。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- ライブ視聴の定員は先着1000名です。

企画建旨

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とポプラ社による共同研究「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトでは、オンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズとして、多彩なゲスト講師をお招きし、デジタル時代の子どもの発達と絵本・本の関係や、子どもをとりまき絵本・本環境について学びを深めるためのセミナーを全4回（予定）にわたり開催いたします。第1回となる今回は、遠藤利彦Cedepセンター長が、今年3年目を迎えるCedep×ポプラ社「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトの意義とこれまでの成果について講演いたします。また、保育者で絵本作家でもある柴田愛子先生をゲストにお招きし、遠藤センター長との対談の形で、絵本・本とのより良い関わり方や、より豊かな読書環境を実現するための手がかりについて考えていきたいと思います。

プログラム

＊プログラムは変更となる場合がございます。

講演

「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトの意義と成果
遠藤 利彦（東京大学大学院教育学研究科 教授／
発達保育実践政策学センター センター長）

対談

「紙とデジタル どうちがう？
～絵本の役割と子どもの育ち～」
柴田 愛子（りんごの木 代表） × 遠藤 利彦
ファシリテーター：野澤 祥子
（発達保育実践政策学センター 准教授）

おわりに

千葉 均（株式会社ポプラ社 代表取締役社長）

遠藤利彦

柴田愛子

セミナーの詳細・申し込みはこちら

URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/27832/>
お申し込みはお一人ずつお願いいたします。
お問い合せ等については、お申込みより1週間前までお問い合わせください。

※セミナーの場子は随時変更いたします。（一部プログラムを除く）。
配信のみの視聴する場合も申し込みが必要となります。
Cedepのウェブサイトから、どこまでもご覧いただけます。
※セミナーの資料は、セミナー終了後にCedepのウェブサイトに
掲載する予定です。（一部資料を除く）。
※録画配信および資料公開の期間は限定です。

企画建旨

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とポプラ社の共同研究「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトによるオンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ 第2回は、子どもの絵本・本に関わる実践や研究から乳幼児の絵本体験について考えます。NPOブックスタートの佐藤いづみ氏を講師としてお招きし、国内外のブックスタート事業の最新動向を中心に講演いたします。また、Cedep協力研究者でもある川村学園女子大学の菅井洋子先生からは、保育現場や図書館における乳幼児と絵本の関わりについての研究成果をご発表いただきます。最後に秋田喜代美先生による指定討論を通じて、乳幼児期からの絵本・本とのより良い関わり方や、より豊かな読書環境を実現するための手がかりについて考えていきます。みなさまのご参加をお待ちしております。

プログラム

＊プログラムは変更となる場合がございます。

講演

「ブックスタートの可能性－日本と海外の事例から－」
佐藤 いづみ（NPOブックスタートグローバルネットワーク推進マネージャー）

対談

「乳児期からの絵本をめぐる共同活動の発達と読書環境構築
：共同研究の知見をふまえて」
菅井 洋子（川村学園女子大学 教授）

初公開！

「写真でみる公立図書館・図書室の乳幼児・保護者のためのスペース事例集」を
本講演内で紹介いたします。＊詳しくは、下記のお申し込みページをご覧ください。

指定討論

秋田 喜代美（学習院大学 教授／東京大学 名誉教授）

佐藤 いづみ

菅井 洋子

秋田 喜代美

セミナーの詳細・申し込みはこちら

URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/30652/>
お申し込みはお一人ずつお願いいたします。
お問い合せ等については、お申込みより1週間前までお問い合わせください。

※セミナーの場子は随時変更いたします。（一部プログラムを除く）。
配信のみの視聴する場合も申し込みが必要となります。
Cedepのウェブサイトから、どこまでもご覧いただけます。
※セミナーの資料は、セミナー終了後にCedepのウェブサイトに
掲載する予定です。（一部資料を除く）。
※録画配信および資料公開の期間は限定です。

企画建旨

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とポプラ社の共同研究「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトによるオンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ、第3回は、酒井 邦嘉先生（東京大学大学院総合文化研究科）を講師としてお招きし、本の特徴としての紙や見開きの効果を検証した最新の脳科学研究の知見をまじえながら、デジタル時代の読書と言語発達の関係や、デジタル時代における教育のあり方についてご講演いただきます。また、Cedepの佐藤 賢輔特任助教から、ポプラ社との共同研究の一環として実施した、紙の絵本とデジタル絵本を比較した研究について簡単に紹介いたします。さいごにCedepの遠藤利彦センター長をまじえたディスカッションを通じて、デジタル時代における、より豊かな読書環境を実現するための手がかりについて考えていきます。みなさまのご参加をお待ちしております。

プログラム

＊プログラムは変更となる場合がございます。

講演

「デジタル時代の読書と言語発達」
酒井 邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科 教授）

研究発表

「紙とデジタルどう違う？：親子による共同読み場面の比較実践」
佐藤 賢輔（発達保育実践政策学センター 特任助教）

ディスカッション

酒井 邦嘉 × 遠藤 利彦（東京大学大学院教育学研究科 教授／発達保育実践政策学センター センター長）

酒井 邦嘉

セミナーの詳細・申し込みはこちら

URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/36406/>
お申し込みはお一人ずつお願いいたします。
お問い合せ等については、お申込みより1週間前までお問い合わせください。

※セミナーの場子は随時変更いたします。（一部プログラムを除く）。
配信のみの視聴する場合も申し込みが必要となります。
Cedepのウェブサイトから、どこまでもご覧いただけます。
※セミナーの資料は、セミナー終了後にCedepのウェブサイトに
掲載する予定です。（一部資料を除く）。
※録画配信および資料公開の期間は限定です。

企画建旨

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）とポプラ社の共同研究「子どもと絵本・本に関する研究」プロジェクトによるオンラインセミナー「デジタル時代の子どもと絵本・本」シリーズ。最終回となる第4回は、森口佑介先生（京都大学）を講師としてお招きし、子どもとデジタルメディアの関わりについて、デジタルデバイスの操作スキルの発達、家庭のメディア環境の影響、バンディックによるメディア環境の変化などの観点からご講演いただきます。また、Cedepの佐藤特任助教から、ポプラ社との共同研究の一環として実施した、家庭での幼児のデジタルメディア利用や読書の実態、保護者の意識に関する調査結果を簡単にご紹介いたします。最後にディスカッションを通じて、これからの子どもとデジタルメディア、そして絵本・本との関係性について考えていきます。みなさまのご参加をお待ちしております。

プログラム

＊プログラムは変更となる場合がございます。

講演

「デジタル時代の子どもとデジタルメディア」
森口 佑介（京都大学大学院文学研究科 准教授）

研究発表

「家庭での幼児のデジタルメディア利用および読書に関する調査」
佐藤 賢輔（発達保育実践政策学センター 特任助教）

ディスカッション

ファシリテーター 野澤祥子（発達保育実践政策学センター 准教授）

森口 佑介

セミナーの詳細・申し込みはこちら

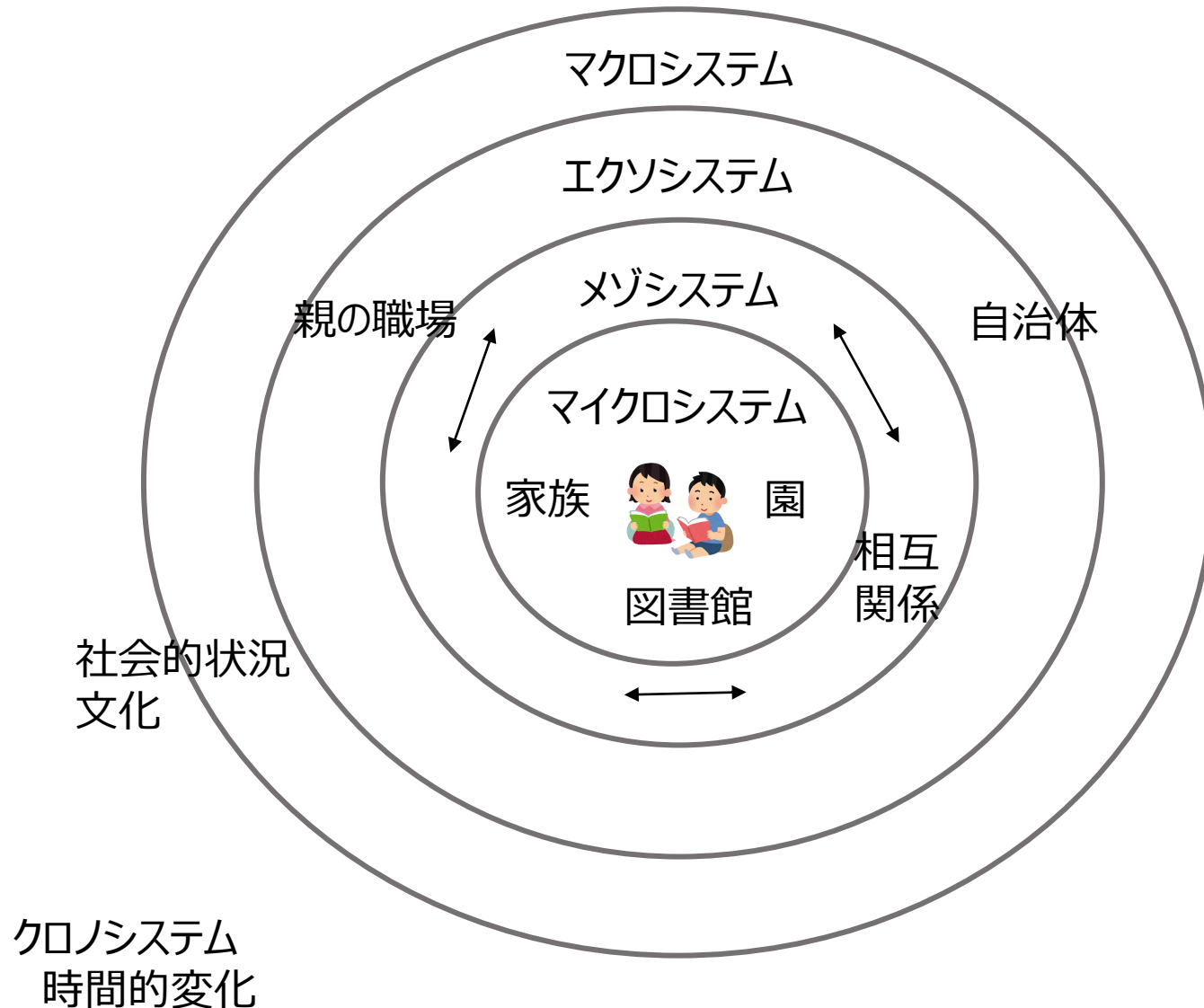
URL <http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/38417/>
お申し込みはお一人ずつお願いいたします。
お問い合せ等については、お申込みより1週間前までお問い合わせください。

※セミナーの場子は随時変更いたします。（一部プログラムを除く）。
配信のみの視聴する場合も申し込みが必要となります。
Cedepのウェブサイトから、どこまでもご覧いただけます。
※セミナーの資料は、セミナー終了後にCedepのウェブサイトに
掲載する予定です。（一部資料を除く）。
※録画配信および資料公開の期間は限定です。

問題意識

- 子どもの発達における絵本や本の重要性が語られてきており、発達心理学の研究においても実証的に示されている。
- 一方で、デジタルメディアが急速に普及し、子どもを取り巻くメディア環境が変化しているという実態がある。
- 子どもを取り巻く絵本・本・メディア環境や実践の実態や子どもの発達との関連、絵本・本・メディアに対する価値観の変容について具体的に把握した上で、絵本・本の普遍的な価値とともに、新しい時代に対応する新たな価値や課題についても探究・創造する必要がある。

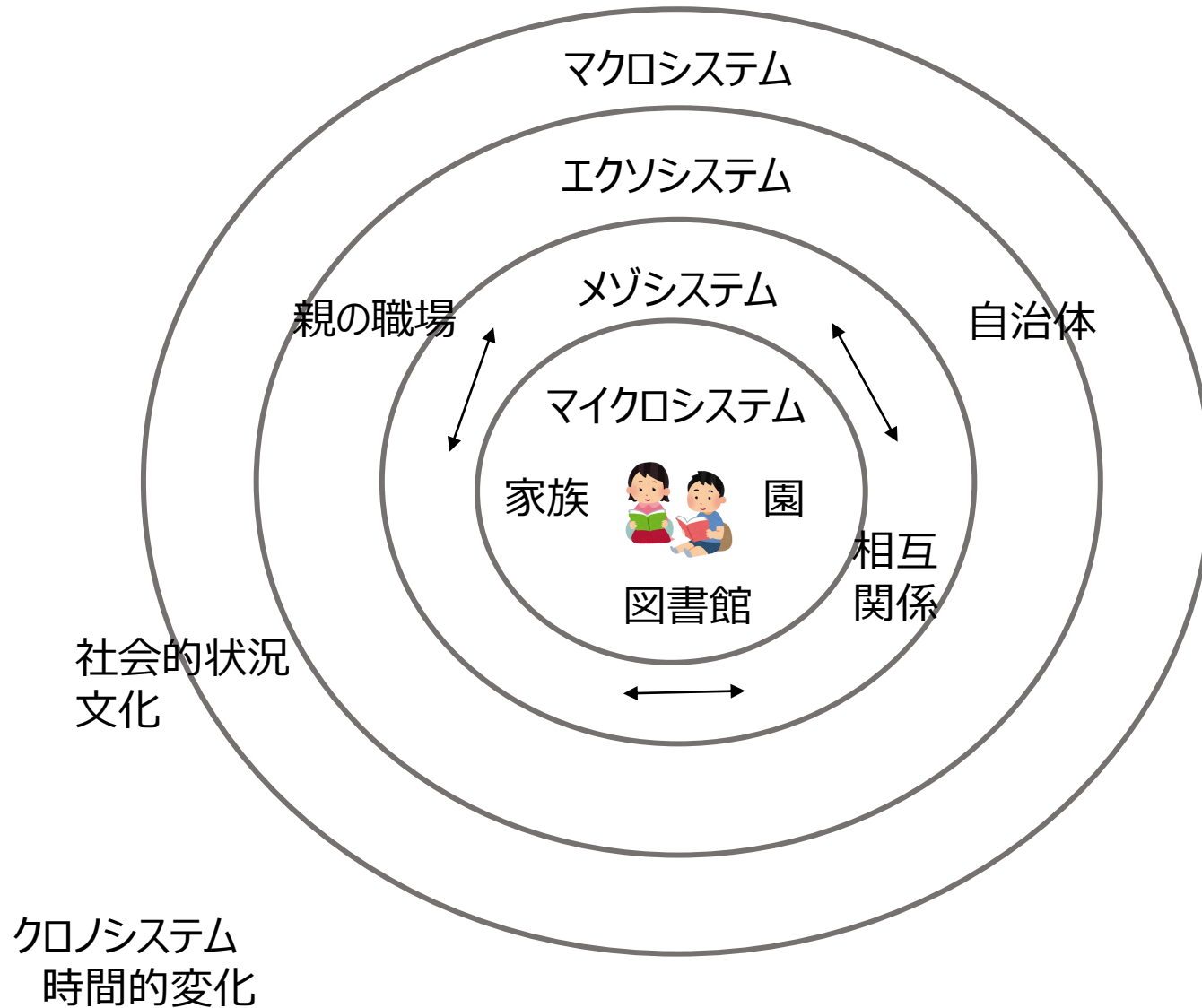
子どもを取り巻く環境



子どもの発達には、人と環境（文脈）が相互作用し合うシステムのなかで複雑に規定される

*エコロジカル・システムアプローチ
発達心理学者U.ブロンフェンブレナーによる。人の発達が、人と環境（文脈）が相互作用し合うシステムのなかで複雑に規定されるものとして捉える。また、環境として、直接的に影響するものから間接的に影響するものまで様々な異なるレベルを想定している。

子どもを取り巻く環境



マイクロシステムの複数の文脈を対象とし、その相互関係やより広い文脈との関係も視野に考察

研究方法と内容

子どもを取り巻く絵本・本環境を多面的に研究し、総合的に考察することをめざす

実験研究

- 紙の絵本・本とデジタル絵本の比較検討
- メディアの種類と子どもの想像力との関連に関する検討

調査研究

- 幼児の読書とデジタルメディア利用についての保護者調査
- 保育・幼児教育施設における絵本環境実態調査
- 子どもの読書環境と公立図書館の役割に関する調査

事例研究

- 子どもの「読む権利」に関する歴史的検討
- 子どもの読書に関する自治体の取り組み
- 海外のカリキュラムにおける絵本・本の取り扱い

本シンポジウム

研究報告

➤ 子ども・親子・家庭に関する研究から

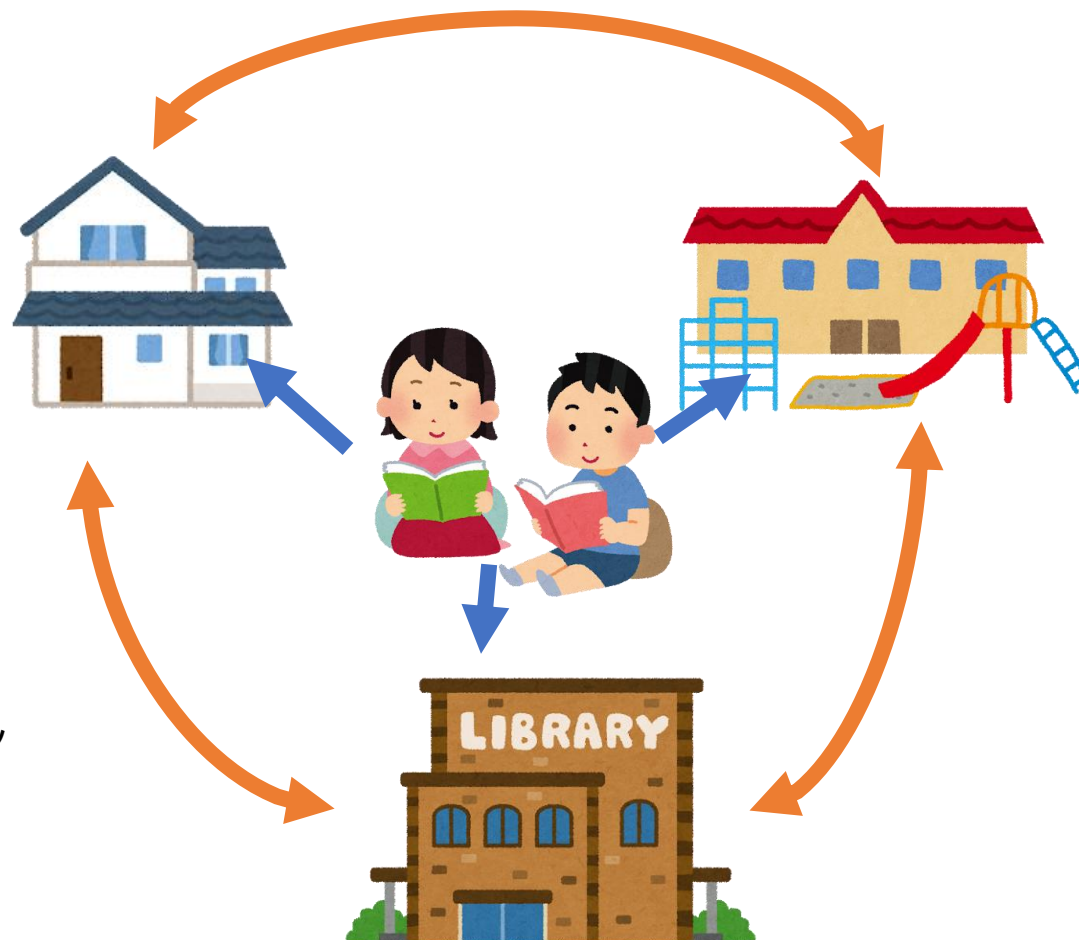
佐藤賢輔（Cedep特任助教）

「幼児の読書とデジタルメディア利用についての保護者調査」、紙の絵本とデジタル絵本の比較や、メディアの種類と子どもの想像力との関連について検討した一連の実験研究の成果や進捗状況の報告

➤ 園・図書館・地域社会に関する研究から

高橋翠（Cedep特任助教）

「保育・幼児教育施設における絵本環境実態調査」、「子どもの読書環境と公立図書館の役割に関する調査」の結果を報告しエコシステムの枠組みから子どもの絵本・本、マルチメディア環境を豊かにしていくために必要な取り組みについての政策提言、今後議論が必要となる点についての話題提供



本シンポジウム

指定討論

秋田 喜代美（学習院大学 教授／東京大学 名誉教授）

遠藤 利彦（東京大学大学院 教授／Cedep センター長）

提言に向けたディスカッション・質疑応答

千葉 均（株式会社ポプラ社 代表取締役社長）

登壇者

調査結果リーフレット

